

教育委員会だより

私たちの大切な宝である子どもたちが、夢や希望を持ち、持続可能な社会づくりの担い手となるよう、教育委員会や各学校はさまざまな取り組みを行っています。

その「今」を紹介します。

平成30年度を振り返って

大牟田市教育委員会

教育長 安田 昌則

平成30年度も、教育委員会と市立学校は、未来を創る児童生徒を育成するため、さまざまな事業や教育活動に取り組み、市制100周年の「次の100年」の第一歩を力強く踏み出すことができました。

8月には、「ユネスコスクール・ESD全国交流会in大牟田」を開催したところ、全国から300人を超える関係者に参加いただき、SDGs（持続可能な開発目標）やESDについて学び、交流する機会となりました。また、1月に開催した「ユネスコスクール・ESD子どもサミット」では、市内外から参加いただいた多くの方々に、児童生徒のESDの学びの成果をご覧いただくとともに、学校同士の交流を深めることができました。

英語教育に関しては、2020年度から全面实施される新しい学習指導要領の内容を先取りして、すべての小学校で、3・4年生は年35時間の、5・6年生は年70時間の外国語活動を実施しています。また、人型英会話ロボット「NAO」を活用した授業の研究と実践を進め、英語でのコミュニケーションに対する児童の興味・関心の向上を図ることができました。さらに、これら以外の事業においても、着実に成果を挙げることができたと考えています。

まもなく平成という一つの時代が終わり、新たな時代を迎えます。時代は移り変わっても、大牟田の教育の炎は赤々と燃え続けます。教育委員会は、これからもこの炎を絶やすことなく、未来を創る児童生徒の育成に努めていきます。市民の皆様には、今後も本市の教育への一層のご理解とご協力をお願いいたします。

持続可能なまちづくりに向けて

「ユネスコスクール・ESDのまちおおむた」宣言記念式典と子どもサミットに多くの児童生徒と市民が参加

1月12日、文化会館小ホールで「ユネスコスクール・ESDのまちおおむた」宣言記念式典と「ユネスコスクール・ESD子どもサミット」を開催しました。

記念式典では、駛馬小学校の源嶋空さんと宅峰中学校の相原匡汰さんが宣言文を暗唱し、人を中心とする持続可能なまちづくりに取り組んでいくことを宣言しました。

子どもサミットでは、遠くは宮城県など市内外からの参加校が、地域の特色を生かして取り組んでいるESDの学びの成果を発表し合い、交流を図りました。



「ユネスコスクール・ESDのまちおおむた」宣言

司会は、田隈中学校の佛木理紗さんと百原未唄さんが務めました。

「大牟田からのメッセージ」として、明治小学校と白光中学校の児童生徒が復興ソング「ふるさと」を合唱し、白光中学校から白光クッキーの売上金を気仙沼市に見舞金として贈りました。

どの発表でも、子どもたちは、主体的に学習に取り組んだことを自身の言葉でしっかりと伝えていて、来場した人たちがたくさん拍手が送られました。

発表校とテーマ

オープニング 明治小学校2年生

「One Little Finger」（英語の歌）

●天領小学校「オリンピック・パラリンピックを通して自分たちができること」

●白川小学校「私たちのジュニア民生委員・児童委員活動」

●宮城県多賀城高等学校
「防災・減災学習」

●大正小学校「大正フラワータウンプロジェクト」

●駛馬小学校・宮原中学校

「世界遺産宮原坑とともに未来を創る」



平成30年度
学校教育功労者表彰式

右のページで紹介したユネスコスクール・ESD子どもサミットの中で、平成30年度学校教育功労者表彰式を行いました。

この表彰は、本市の学校教育の振興に特に功績があった個人や団体に対し、教育委員会が行うものです。今年度は、21の個人・団体の皆さんが受賞しました。

受賞した皆さんには、これからその豊富な知識と経験を、本市で学ぶ児童生徒のために生かしてもらえ、ることを期待しています。



受賞した個人・団体

【登下校時の見守り】

森 良子さん

久保 精子さん

久保田 和子さん

木村 桂子さん

井形 安博さん

【読書ボランティア】

池田 美子さん

古賀 敬子さん

松藤 瑠美さん

岡村 淳子さん

野村 ひろみさん

【ミシンボランティア】

布れんずクラブ（団体）

【学校環境ボランティア】

河島 宏子さん

【学校評議員】

北野 真田美さん

【学校医】

枝光 淳さん

末吉 圭子さん

徳丸 久子さん

成川 圭太さん

升永 典代さん

【学校歯科医】

園田 哲也さん

濱崎 真奈美さん

【学校薬剤師】

松本 玲子さん

（順不同）

大牟田のユネスコスクール卒業生が未来を語りました
「ユネスコスクール全国大会」

30年12月8日に横浜市で開催された第10回ユネスコスクール全国大会で、全国各地のユネスコスクール卒業生6人によるパネルディスカッションが行われ、白光中学校卒業生の中川原沙月さんがパネリストとして参加しました。

中川原さんは、ユネスコスクールである白光中学校での学習や体験が役に立っていることとして、「一つ目は、みんなと協力することです。協力すること、できることや可能性が広がります。二つ目は、自分の考えを提案することです。提案することによって、固まっていた場の空気が動き出します」と発言しました。

小学校の教員を目指している中川原さんは、「自分の未来を切り拓くことのできる子どもたちを育てていきたいです。教師として、地域をつくる大人として、生まれ育った大牟田の子どもたちとともに成長できたらと考えています」とも述べました。

相互性（関わり合っていることや連携性（力を合わせる）こと）など、ESDの大切な視点を踏まえて未来を語ってくれた中川原さんの更なる成長と活躍を願うとともに、ESDの成果がこのように実を結んでいることを実感することができました。

これからも大牟田市はESDを推進し、持続可能な未来を創る児童生徒を育てていきます。



パネルディスカッション……一番右が中川原さん

■問合せ 教育委員会事務局総務課
教育みらい創造室（☎412867）